

新学期が始まります

教職員の異動発令等もあり、新しい体制と新しい意欲、学級数及び教員の数は、欲の下に各小中学校とも愈々次のおりです。今年もよき新学期が始まれます。ろしくお願ひします。

計	55	3	3	61
間小	8	1	1	8
和	13	1	1	15
岩小	15	1	1	17
岩中	19	1	1	21
本務	1	1	1	3
事務	1	1	1	3
教員	1	1	1	3
数	1	1	1	3

岩室中学校が無人化に

四月一日から実施

教職員の勤務条件の改善前通り行います。利用されるの環として四月一日から岩室中学校が完全無人化(教職員の勤務時間以外は誰もいない)されます。これで行う内小、中学校は全部無人化となりますが、学校の体育施設の開放は所定の手続きをとおしは従

本間俊平顕彰会が発足

郷土間瀬が生んだ哲人本生の生家を記念館として保間俊平先生の至誠篤行の存し、遺作や遺品等も陳列がらと求道者としての偉大、一般に公開するなど、な生涯を顕彰し、永く後世に伝えんが為本間俊平先生顕彰会の設立準備がすすまられています。村、村議会、教育委員会、大字間瀬部落等が中心となつて、現存する本間先ご協力をお願いします。

本間俊平先生の略歴

明治六年間瀬海岸の貧しい大工の長男として生れ、若者たの良心を火がとも苦学力行の末一家の復興を図る。十八才の頃からキリスト教に入信し洗礼をうける。明治三十五年二十九才の若さでその人がらを見込まれて山口県秋吉台の大理工探掘場の経営主となり事業家として大成をなす。この間その偉大な人がらが認められ、時の政府から委託を受け、刑罰をおえて出獄した極悪道者や世間から見放された、ならずもの達の善導教化に当る。大理工の原石を切り出すというはげしい作業ときびしい起居を通じて人の心を磨き直そうとする率先躬行の翁独特の教化と情熱の前

岩室村美術クラブ発足

発起人会で原案を審議

村芸展の開催を契機に、次の発起人まで申し込ませ、これを更に継続発展させ、また村内愛好者の創作意欲や質的内容にの盛り上がりや質的鑑賞能力を高めるため美術クラブ発足の機運が高まり、このたび発起人会が開かれ四月月上旬発足をめざし、今、会員募集を行つていす。入会希望の方、公民館ま

新年度から

学校給食費を改正

学校給食実施について開催し、十分検討した結果は、村民各位より特段の御次の通り実施されることに協力を得ておりますが、昨なりましたのでお知らせ致す。なお、詳細については、学校より連絡があります。

昭和四十九年度	給食費月額	摘要
小学校	二、一〇〇円	土曜日給食をしない
中学校	二、五〇〇円	

交通規制

道路拓市並びに路盤整備工事のため、左記の期間車両通行止めをいたします。

一、路線名赤さびし西船越線
二、期間 自三月二十五日 至四月三十日
ご迷惑をおかけいたしますがよろしくおねがいします。

現金や貴重品は書留で

現金や指定された貴金属類を送るには、必ず書留としなければなりません。書留とは、差出された場合に、その郵便物は差出人に返されたうえ、書留料の二倍に相当する運付料金が取られますのでご注意ください。

書留として送れるおもなものは次のとおりです。

(1) 現金、日本の紙幣及び貨幣で、外国の紙幣及び古銭は含まれません。

(2) 郵政大臣が指定する貴金属、宝石、その他の貴重品、金、銀、ダイヤモンド等。

小・中学校

教職員の異動

教職員の定期異動は、四月一日付で発令されましたが、本村小・中学校から栄転される先生方に感謝をこめてお送りすると共に、新しい期待をもつてお迎えする新しい先生方を紹介いたします。

- ◎お世話になりました
 - ・岩室中学校から
 - 校長 瀬賀 進
 - 教諭 三國正男(黒崎中)
 - 教諭 鳥山 護(吉田中)
 - 山崎行夫(巻中)
 - ・岩室小学校から
 - 校長 松本 富
 - 教諭 小林光子(和納小)
- ◎よろしくお願ひします
 - ・転入()内は旧任校
 - ・岩室中学校へ
 - 校長 本間 泰
 - 教諭 藤原 諒
 - (東浦 三川中)
 - 佐山 浩(黒崎中)
 - 山崎 紀(月瀉中)
 - 丸山正英
 - (三条一中)
 - ・岩室小学校へ
 - 校長 小宮富郎
 - 教諭 遠藤ヤン(燕西小)

井底の痴蛙に比すべき老生の

本間 八十太郎

紙面の都合で前号に割愛してここに追録

区長会長退任に際して他意なきに発した、一途に愛する村の至情が百省も、あら、自己を主張することのらまほしきことどもの骨格が急であって、為に争は羅列、呉下の旧阿蒙であるあとをたない。対者の言ことを知りながらも、不眠ての温い談合こそ、の禿多謝して

□社会運轉感の稀薄
戦後有機体感が否定され、戦後有機体感の稀薄であるもの、全体と個との関係、社会と云う大きな歯車の一つが自己であること念がない。

新刊図書案内

- わが肉なる革命と青春 西浦原郡志
- 昭和历史の天皇 若者の哲学
- 若者の哲学 岩片磯雄
- 日本農業を語る 矢島武 共編
- 国盗物語 司馬遼太郎
- 義経 朝日新聞社
- 現代用語事典 第9集 海音寺潮五郎
- 日本史探訪 第9集 渡辺 正
- にんにく健康法 笠輪 澄
- 越佐の名作 主婦の友社刊
- 京都の旅と味 レクリエーション協会
- レクリエーション事典 小林 宏
- わからせ方の技術 日本レクリエーション協会

家の奮起を望むこと切なり

偉人の理念

過去は立身出世主義を謳歌した。隣人に最大の奉仕する人を偉人として敬す、アマリカ人の理念。

勤勞一分度、推譲一報愛と熱力の持ち主でありたい。教育のカテゴリーを吉田松陰にベスタロッチに見出し、師第一の顕現こそ、

□家庭の縦の倫理
夫婦相愛の縦の倫理のみ三代家族主義が日本家庭の理想である之が実現に姑と嫁の間の溝、血のつながり、にのみ愛をかんずる偏狭の愛。

□教育者の真使命、師道の樹立
「敬夫愛人」「互尊独尊」「愛情」の交流が根底である。「己の欲せざる如く人に施すこと勿れ」と二千年前に孔子は悟して居られる。

神聖なるべき教育が時に

目的の為に手段化されてい

やせぬかの懸念もある。童心は神性、教育者は童心を復帰し、高き信念と酔ひの魂に希望の火を点するの役、魂を洗う、教師自らが燃えて他を燃やす。愛と熱力の持ち主でありたい。教育のカテゴリーを吉田松陰にベスタロッチに見出し、師第一の顕現こそ、

□基本的人権の尊重
「敬夫愛人」「互尊独尊」「愛情」の交流が根底である。「己の欲せざる如く人に施すこと勿れ」と二千年前に孔子は悟して居られる。

聖を加えたい。

生活の中に宗教がないこ

とは淋しい限りであり、健全な社会の出現は望めないこの意味からしても、七浦親者の建立に大きな意味が見い出せる。

□社会教育の伸張深化
歴史のふるい、学校教育はさることながら、歴史の浅い社会教育面の体系付が、五才児の幼児教育の幼稚園の設置、図書館、民俗資料博物館等も、

□郷土の先哲先覚者の顕彰
百万巻の図書よりも真に生きた資料として、とり敢えず国際的の偉人秋吉台の聖者、本間俊平翁の顕彰を(昭和四九、甲寅、建国記念の佳辰記)

わが人生論

- 夫につき合ひ秘密集 スポーティイゲーム
- たのしいゲーム
- どぶ川学級
- 若い世代と学問
- 青春の肖像
- わが半生の記
- ああ、勝負師
- 俺の胸に火をつけた言葉
- 人間であることの原点
- もう一度生きなおそう
- 献本 漢詩集、静思録
- 家之光協会
- 池坊 保子
- 森 朗
- 松原 五一
- 須長 茂夫
- いぬいたかし
- 古在 由重
- 吉開那津子
- 岩田専太郎
- 阿佐田哲也
- 加藤 諭三
- 今里 耕圓
- 大國 小国
- 読売新聞社
- 小林多喜二
- 松本 清張

教職員の定期異動は、四月一日付で発令されましたが、本村小・中学校から栄転される先生方に感謝をこめてお送りすると共に、新しい期待をもつてお迎えする新しい先生方を紹介いたします。

区長会長退任に際して他意なきに発した、一途に愛する村の至情が百省も、あら、自己を主張することのらまほしきことどもの骨格が急であって、為に争は羅列、呉下の旧阿蒙であるあとをたない。対者の言ことを知りながらも、不眠ての温い談合こそ、の禿多謝して

□社会運轉感の稀薄
戦後有機体感が否定され、戦後有機体感の稀薄であるもの、全体と個との関係、社会と云う大きな歯車の一つが自己であること念がない。

新刊図書案内

- わが肉なる革命と青春 西浦原郡志
- 昭和历史の天皇 若者の哲学
- 若者の哲学 岩片磯雄
- 日本農業を語る 矢島武 共編
- 国盗物語 司馬遼太郎
- 義経 朝日新聞社
- 現代用語事典 第9集 海音寺潮五郎
- 日本史探訪 第9集 渡辺 正
- にんにく健康法 笠輪 澄
- 越佐の名作 主婦の友社刊
- 京都の旅と味 レクリエーション協会
- レクリエーション事典 小林 宏
- わからせ方の技術 日本レクリエーション協会

家の奮起を望むこと切なり

偉人の理念

過去は立身出世主義を謳歌した。隣人に最大の奉仕する人を偉人として敬す、アマリカ人の理念。

勤勞一分度、推譲一報愛と熱力の持ち主でありたい。教育のカテゴリーを吉田松陰にベスタロッチに見出し、師第一の顕現こそ、

□家庭の縦の倫理
夫婦相愛の縦の倫理のみ三代家族主義が日本家庭の理想である之が実現に姑と嫁の間の溝、血のつながり、にのみ愛をかんずる偏狭の愛。

□教育者の真使命、師道の樹立
「敬夫愛人」「互尊独尊」「愛情」の交流が根底である。「己の欲せざる如く人に施すこと勿れ」と二千年前に孔子は悟して居られる。

神聖なるべき教育が時に

目的の為に手段化されてい

やせぬかの懸念もある。童心は神性、教育者は童心を復帰し、高き信念と酔ひの魂に希望の火を点するの役、魂を洗う、教師自らが燃えて他を燃やす。愛と熱力の持ち主でありたい。教育のカテゴリーを吉田松陰にベスタロッチに見出し、師第一の顕現こそ、

□基本的人権の尊重
「敬夫愛人」「互尊独尊」「愛情」の交流が根底である。「己の欲せざる如く人に施すこと勿れ」と二千年前に孔子は悟して居られる。

聖を加えたい。

生活の中に宗教がないこ

とは淋しい限りであり、健全な社会の出現は望めないこの意味からしても、七浦親者の建立に大きな意味が見い出せる。

□社会教育の伸張深化
歴史のふるい、学校教育はさることながら、歴史の浅い社会教育面の体系付が、五才児の幼児教育の幼稚園の設置、図書館、民俗資料博物館等も、

□郷土の先哲先覚者の顕彰
百万巻の図書よりも真に生きた資料として、とり敢えず国際的の偉人秋吉台の聖者、本間俊平翁の顕彰を(昭和四九、甲寅、建国記念の佳辰記)

わが人生論

- 夫につき合ひ秘密集 スポーティイゲーム
- たのしいゲーム
- どぶ川学級
- 若い世代と学問
- 青春の肖像
- わが半生の記
- ああ、勝負師
- 俺の胸に火をつけた言葉
- 人間であることの原点
- もう一度生きなおそう
- 献本 漢詩集、静思録
- 家之光協会
- 池坊 保子
- 森 朗
- 松原 五一
- 須長 茂夫
- いぬいたかし
- 古在 由重
- 吉開那津子
- 岩田専太郎
- 阿佐田哲也
- 加藤 諭三
- 今里 耕圓
- 大國 小国
- 読売新聞社
- 小林多喜二
- 松本 清張